

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道58号 <small>なほにし</small> 那覇西道路	事業区分	一般国道	事業主体	内閣府 沖縄総合事務局
起終点	自： <small>おきなわけん なほしわかさ</small> 沖縄県那覇市若狭 至： <small>おきなわけん なほしかがみず</small> 沖縄県那覇市鏡水			延長	3.0km
事業概要					
<p>一般国道58号は沖縄本島西海岸を南北に走る交通の大動脈であり、沖縄本島中南部の人口集中地域や県都那覇市と、沖縄本島北部の観光・リゾート地域及び農山村地域を結ぶ地域高規格道路である。那覇西道路は沖縄西海岸道路の一翼を担い、本島北部と中南部を結ぶ主要幹線道路となり、那覇市街部及び周辺部の交通混雑緩和、那覇港、那覇空港へのアクセス向上を目的とし平成13年度より事業着手した。</p>					
H13年度事業化		H13年度都市計画決定		H14年度用地着手	
H13年度工事着手					
全体事業費	1,677億円	事業進捗率	99.8%	供用済延長	0km
計画交通量	20,500台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 0.2 (残事業) 17.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 23/1,955億円 事業費：3.7/1,936億円 維持管理費：19/19億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 408/408億円 走行時間短縮便益：296/296億円 走行経費減少便益：70/70億円 交通事故減少便益：42/42億円	基準年 平成22年	
感度分析の結果：残事業について感度分析を実施					
交通量変動	B/C=14.6 (交通量-10%)	B/C=20.9 (交通量+10%)			
事業費変動	B/C=17.3 (事業費+10%)	B/C=17.9 (事業費-10%)			
事業期間変動	B/C=17.5 (事業期間+20%)	B/C=17.6 (事業期間-20%)			
事業の効果等					
①滑なモビリティの確保					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 並行路線である国道58号に集中する交通が分散し、並行区間の交通量が22%減少。渋滞損失時間が19%削減。 ・ 那覇空港から那覇新港までの所要時間が56%短縮。【27分→12分】（未整備→完成6車線） ・ 国道58号の平均旅行速度が20%上昇。 					
②個性ある地域の形成					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 那覇港は港湾に加え、ビーチ等の総合的な空間整備を計画しており、那覇西道路が供用することで利便性の向上が期待される。 					
③安全で安心できる暮らしの確保					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 那覇空港周辺から第3次医療施設である浦添総合病院への所要時間が約17%短縮。【54分→45分】（未整備→完成6車線） 					
④地球環境の保全					
<ul style="list-style-type: none"> ・ CO2排出量が約0.3万t/年削減（約0.14%）削減【206.0万t/年→205.7万t/年】（未整備→完成6車線） 					
⑤生活環境の改善・保全					
<ul style="list-style-type: none"> ・ NOx排出量が約5.4t/年削減（約6%）削減【95.8t/年→90.4t/年】（未整備→完成6車線） ・ SPM排出量が約0.9t/年削減（約9%）削減【9.1t/年→8.2t/年】（未整備→完成6車線） 					
関係する地方公共団体等の意見					
<p>沖縄西海岸道路は、沖縄本島の道路網の骨格となる地域高規格あり、車社会である本県の振興発展に極めて重要な役割を担うものである。</p> <p>現在、延長約50kmの全長の各区間にて鋭意事業を推進されている。那覇西道路は、人・物の交流拠点となる那覇空港と那覇市内をつなぐ道路であり、その整備により那覇空港と那覇新港の連携強化がなされ物流の効率化が図られるとともに並行路線である国道331号や国道58号の渋滞緩和が期待されている。</p> <p>また、暫定供用している一般国道331号豊見城道路などの区間においては、渋滞緩和や豊崎タウンへの企業立地促進などの事業効果が発現されており、事業の投資効果の有効性が明らかとなっている。</p> <p>このように各区間の暫定的な部分供用においても十分な事業効果が明らかになっていることから、沖縄西海岸道路の全線を結ぶ早期整備が必要と考える。</p> <p>したがって、対応方針（原案）のとおり事業継続に同意する。</p>					

事業評価監視委員会の意見	
事業継続	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
<ul style="list-style-type: none"> ・那覇空港は旅客数と航空貨物量、那覇港は取扱貨物量ともに横ばい。那覇空港と那覇港の一体的運用による貨物輸送の効率化も検討されており、那覇西道路が整備されることで効果発現に大きく寄与する。 ・並行する国道58号は、交通量が7万台/日、混雑度は1.5を超えている。 ・ピーク時旅行速度は14.3km/hと、全国ワースト1位となっている。 ・死傷事故率が300件/億台キロを超える箇所が3箇所存在している。 	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
・事業進捗率は99.8%、用地取得率は99.3%(平成22年度末見込み)。	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
・平成23年夏頃を供用予定とし、事業を推進中。	
施設の構造や工法の変更等	
・工法の変更等によるコスト縮減に努めながら事業を推進。	
対応方針	見直し継続
対応方針決定の理由	
以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。	
事業概要図	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。